

大川原とは…大川原は福島県大熊町にある地区です。町は、2011年3月の東日本大震災に伴う原発事故により全町避難を余儀なくされましたが、2019年4月にこの大川原地区と中屋敷地区に限り避難指示が解除されました。大川原地区には新しく役場庁舎や公営住宅などができ、住人が日々の暮らしを再開しています。

発行：大熊町大川原LIFE編集部 問合せ先：mirai@town.okuma.fukushima.jp

こんにちは!! 大熊町役場の南隣の「頭森公園(かしらもりこうえん)」、ずいぶん木が少なくなったなあ、と思っていませんでしたか? 特に冬期、木々の枝葉が落ちてしまうと、丘の頂まで、なんかスカスカ…。「あれ、あの碑立ってたっけ??」…ということで、今回は復興事業課の協力を得て、頭森公園が、今どうなっているか、お伝えします!!



← 4月初め、葉っぱがなくて頂上までよく見えました。



↑ 新緑があざやか!! 気持ちいい。

初めて見る花



頭森公園

ただいま整備中です!!

歩いたのは4月初め。よく見ると、あちこちに小さな花が咲き始めてはした。復興事業課によると、伐採は里山を再生するため実施。大きな針葉樹を中心に伐採し、地面に日光が届くことで、土地に根がいた植生の再生を促しています。整備中の遊歩道を歩き、頂についてびっくり。真っ白な小石が敷き詰められています。そして、東日本大震災で壊れ、斜面に落ちていた碑がまっすぐに立っていました。

↳ 転がっていたのが元通りに!!

この「先民遺徳碑」には、かつてこの地を開拓し、今に続く暮らしを築いた先人をたたえる言葉が刻まれています。先人の思いを引き継ごうと、碑の部分の修復は、行政ではなく大川原の人たちが有志で行ったそうです。 → 裏につづきます。



↑ 一瞬、雪かと思った!!



→ 表面からの続きです。



頂上から海の方をのぞみます。
葉がないこともあり、眺望よし!!
大川原地区復興拠点の様子を
確認するにもいい場所ですね。
海も見えるかな...

頂を中心に回遊できるような遊歩道
が整備されていきます。
役場側から登る途中には水生園も。
もともと水が溜まりやすい地質と
いう頭森。あつた水辺を生かして
水生生物が息づく場所をつくっています。



水生園を過ぎて頂上方面へ登る途中、
石碑が一つ立っています。

「いわれがわからないんだよね」と復興
事業課の職員。もし、ご存知の方が
いたらぜひ教えてください!!



頂上から東側に下ってみます...



東側の斜面には、桜が多く
植えられる予定です。



自生の水仙
もとても
きれいでした。

すでに植樹された木
には花をつけているものも。
桜の名所になるのは
何年後のことでしょうか。



頭森公園はまだ整備途中。全体が完成するにはあと2年ほどかかるそうです。
自由に散策できる日が楽しみです。